

学頭沼



田代三喜 (Wikipedia より引用)

平安末期以降、越生郷を治めた越生氏一族に「鳴瀬右近成瀬村(大字成瀬)」と記される池は、龍池山正福寺の横にあつたと伝わっています。田代村(江戸期には古池村の小名)に生まれたと伝えられる、室町・戦国時代にかけての医師で、医聖と称される田代三喜の生地は、県指定旧跡に指定されています。

成瀬村(大字成瀬) 平安末期以降、越生郷を治めた越生氏一族に「鳴瀬右近成瀬村(大字成瀬)」と記される池は、龍池山正福寺の横にあつたと伝わっています。田代村(江戸期には古池村の小名)に生まれたと伝えられる、室町・戦国時代にかけての医師で、医聖と称される田代三喜の生地は、県指定旧跡に指定されています。

鹿下村(大字鹿下) 室町時代の応永32年(1425)の寄進状に名が見える村です(『年譜』)。大字古池にある鹿嶋神社の下に位置することから地名がついたとの伝承が残っています。越生最大の溜池である学頭沼は、名の由来を、慶長8年(1603)に江戸城に上る慈光寺(と

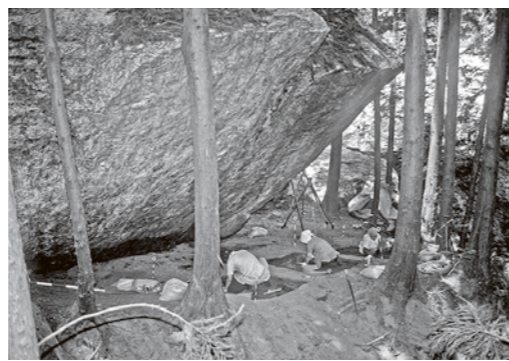
越生浪漫 No.151

越生は町ごと博物館②

古池村(大字古池) 「昔村内に大なる池ありし故に、村名となれり」(『新編武蔵風土記稿』)以降『風土記稿』と記される池は、龍池山正福寺の横にあつたと伝わっています。田代村(江戸期には古池村の小名)に生まれたと伝えられる、室町・戦国時代にかけての医師で、医聖と称される田代三喜の生地は、県指定旧跡に指定されています。

小杉村(大字小杉) 『龍徳寺縁起』では太田道真・道灌父子が当村に健康寺を建立し、龍徳寺再興のために陣屋を置いて居住した地であると伝えています。町指定文化財「梅園神社本殿」は、

集めた『ものがたり奥武蔵』(神山弘著)によれば、当地は大昔、龍徳寺前の湖が大雨であふれ出した際に、越生の町への被害を食い止めるため堤防を築いた所(「築根」)であると伝えています。山地では、動物の骨や貝殻、縄文時代早期末・前期初頭の人骨などが出土した夫婦岩岩陰遺跡が見つかっています。



夫婦岩岩陰遺跡の発掘調査 (1987年)



太田資正 (Wikipedia より引用)

棟札から享保元年(1716)の造立と考えられ、建築時期を知り得る町内最古の神社建造物と推定されています。大満村(大字大満) 戦国時代の永禄3年(1560)に、道灌の曾孫にあたる太田資正が出した、越生郷内での濫妨狼藉を禁じた文書の宛名に「大間」が見えます。江戸時代には「大満」と表記されています。地名の由来は龍徳寺五世が悪童を調伏したところ、童の住む淵が壊れ、水があふれて溜まったことから「水、大いに満つ」の意味で名付けられたと伝わっています。当地を縦断する県道越生長沢線は、古くから吾野(現飯能市)へ抜ける主要路であり、子の権現(天龍寺)への参道でもありました。人々の往来が盛んになると上大満の「橋場」と呼ばれる一面に宿場が整備されました。

棟札から享保元年(1716)の造立と考えられ、建築時期を知り得る町内最古の神社建造物と推定されています。大満村(大字大満) 戦国時代の永禄3年(1560)に、道灌の曾孫にあたる太田資正が出した、越生郷内での濫妨狼藉を禁じた文書の宛名に「大間」が見えます。江戸時代には「大満」と表記されています。地名の由来は龍徳寺五世が悪童を調伏したところ、童の住む淵が壊れ、水があふれて溜まったことから「水、大いに満つ」の意味で名付けられたと伝わっています。当地を縦断する県道越生長沢線は、古くから吾野(現飯能市)へ抜ける主要路であり、子の権現(天龍寺)への参道でもありました。人々の往来が盛んになると上大満の「橋場」と呼ばれる一面に宿場が整備されました。



越生小学校

7月20日、NTTドコモのオンライン授業で、スマホやケータイとの正しい付き合い方や危険性を学びました。スマホやケータイ、そして通信ゲームなどを使う時には、正しい判断と相手への思いやりを忘れないようにしましょう。



梅園小学校

7月19日は、水泳学習の一環で着衣水泳を行いました。洋服を着たまゝの状態の水の中に入るとどうなるのかを、実際に体験することで水の事故防止に役立てる取組です。児童からは、「動きにくい」「重い」「沈む」などの感想がありました。

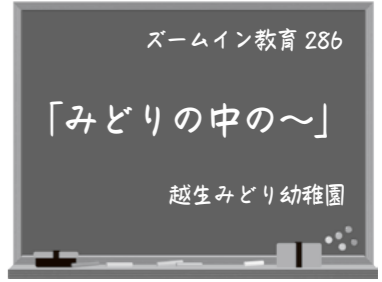


越生中学校

7月10日、情報モラル教室を行いました。今回は、PTA家庭教育学級と合同で開催し、親子でインターネットの危険性について講義を聞きました。家庭での約束事などを見直していくことの必要性を再確認する、貴重な機会になりました。



おごせっ子広場 町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。



【川遊び】 幼稚園の周りにはさくらの山、大観山など自然がたくさんあります。幼稚園では日々の保育の中で自然とふれあい、心を開放し、子供一人一人の可能性を育てる山保育を目指しています。暑い日は、川へ水遊びに行き、水の冷たさや、水面がキラキラ輝く様子を見て、たくさん刺激を受け、自分たちで遊びを考え楽しんでいきます。

【みどりの中】 毎年、幼稚園の畑で年長組が夏野菜を育てています。今年も、かぼちゃ、トマト、トウモロコシ、ピーマンなどです。お手製のペットボトル型じょうろを持って、みんなで水やりに行きます。収穫できた野菜は幼稚園で調理し、お昼に食べます。普段は野菜が苦手な、あまり食べない子ども自分たちが育てた野菜は特別おいしく感じるようです。今年もたくさん収穫できるかな？